令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	環境基本計画推進事業				コード	03160100-0201	
中事業名	環境基本計画推進事業				計画区分	―	
担当部等	生活安全部		担当課等	環境課			
総合計画	コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称	
基本目標	03	暮らしやすいまちを創る		会計	1	一般会計	
基本施策	16	環境負荷の少ない地域社会の形成		款	04	衛生費	
主要施策	01	環境意識の向上		項	01	保健衛生費	
				目	05	環境衛生費	
				大	02	環境基本計画推進事業	
				中	01	環境基本計画推進事業	
根拠法令・条例等	環境基本法、地球温暖化対策の推進に関する法律、環境まちづくり基本条例						
基本計画等	日進市環境基本計画、日進市地球温暖化対策実行計画						

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	環境基本計画に基づいた市民向け環境教育講座「にっしんＥＳＤ事業」をはじめ、地球温暖化対策実行計画に基づいた普及啓発事業「にっしん省エネ倶楽部」、一般家庭の省エネ・創エネ・蓄エネの推進を目的とした「地球温暖化対策機器設置費補助事業」を実施する。
対象	市民・事業者
意図（目的）	環境まちづくり基本条例、環境基本計画、地球温暖化対策実行計画の理念や施策を着実に推進することにより、本市の持続可能な発展を目指す。
手段	ＥＳＤ等の普及啓発を目的とした講座の実施、地球温暖化対策機器設置費補助金制度や環境まちづくりサポーターズポイント制度の実施

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			19,442	17,920	22,256	20,237	18,352	16,802	18,746
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	2,700	2,210	3,000	2,945	3,000	2,802	3,000
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	5,001	4,208	4,001	4,132	1	0	1
	一般財源		11,741	11,502	15,255	13,160	15,351	14,000	15,745

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	ＳＤＧｓを所管する企画政策課及びＥＳＤを所管する環境課が連携できる推進体制に見直ししたことから、より効果的・効率的なＳＤＧｓ・ＥＳＤの普及啓発を進める。また、国が取りまとめた「脱炭素ロードマップ」に示されたとおり、今後省エネ、再エネ等に係る取組を推進していくため、地球温暖化対策機器の補助制度の見直しを図る。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	2050年までに温暖化ガス排出量を実質ゼロに向けた取組を推進するため、庁内の推進体制において、推進すべき取組を検討していく必要がある。令和４年度からは、第２次日進市環境基本計画の策定作業を予定しており、計画に法改正に関わる事項を盛り込むため、地球温暖化対策の具体的な項目や再生エネルギーの導入目標などについての検討を進めていく。

令和 3年度に取り組んだこと	市民向け環境教育講座「にっしんＥＳＤ事業」では、ＥＳＤの取り組み等を紹介し、ＳＤＧｓ・ＥＳＤ普及啓発に努めた。職員に対してはＳＤＧｓ研修を実施した。地球温暖化対策では、にっしん省エネ倶楽部COOLCHOICE促進ネットワーク事業、地球温暖化対策機器設置費補助事業を行った。

成果	ＳＤＧｓ・ＥＳＤの定着に向けて多くの市民に対してＥＳＤ講座を実施することができた。地球温暖化対策として、にっしん省エネ倶楽部COOLCHOICE促進ネットワーク事業を通じた普及啓発及び地球温暖化対策機器設置費補助事業による再生エネ・省エネを推進できた。
課題	ＥＳＤ事業の推進や企画政策課との連携により、ＳＤＧｓに貢献できる人を増やしていく必要がある。また、地球温暖化対策機器設置費補助事業その他全庁的な取り組みにより地球温暖化対策を推進していく必要がある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	Ｂ	現状のまま継続	前年度評価結果	Ｂ
評価の理由	職員や市民に対するＳＤＧｓ・ＥＳＤの推進は、研修、講座等の実施により普及啓発につながった。地球温暖化対策は、にっしん省エネ倶楽部COOLCHOICE促進ネットワーク事業を通じた普及啓発及び地球温暖化対策機器設置費補助事業による再生エネ・省エネの推進に一定の効果があったため。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容		ＳＤＧｓを所管する企画政策課と連携し、より効果的・効率的なＳＤＧｓ・ＥＳＤの普及啓発を進める。また、環境基本計画の策定作業に着手し、全体構成、目標、施策等について検討する。			
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		令和５年度までに地球温暖化対策実行計画を含む第２次環境基本計画を策定し、温暖化対策をはじめ計画の目標、取り組むべき施策等についてとりまとめる。			

【アウトプット指標】

指標名	ＥＳＤ講座参加者数					単位	人
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	1,500.00	1,337.00	1,500.00	1,522.00	1,500.00	1,752.00	1,500.00

【アウトカム指標】

指標名	環境を意識した行動に取り組んでいる市民の割合					単位	%
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
			46.30	46.30	46.64	46.30	46.98
式	日進市市民意識調査						
指標の狙い	ＳＤＧｓ・ＥＳＤ推進の取組により、環境を意識した行動ができる人づくりにつなげる。						

令和03年度日進市事務事業評価シート

【アウトプット指標２】

指標名	地球温暖化対策機器の補助件数					単位	件
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	253.00	236.00	148.00	155.00	135.00	159.00	179.00

【アウトプット指標３】

指標名	環境まちづくりサポーターズ事業会員登録件数（個人+団体）					単位	件
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	2,100.00	2,170.00	2,350.00	2,265.00	2,415.00	2,338.00	2,388.00

【アウトカム指標２】

指標名	温室効果ガスの削減（ＣＯＯＬ　ＣＨＯＩＣＥなど）を意識している市民の割合					単位	%
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
			43.30	43.30	43.94	43.30	44.58
式	日進市市民意識調査						
指標の狙い	ＥＳＤ講座やＣＯＯＬ　ＣＨＯＩＣＥに係る事業の実施により、温室効果ガス削減に向けて意識して取り組む人の増加を図る。						

【アウトカム指標３】

指標名	地球温暖化対策機器導入による年間ＣＯ2削減量					単位	t-C02
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	167.00	175.00	153.00	159.00	143.00	144.00	192.00
式	各機器１基あたりのＣＯ2削減量（年間）×補助件数						
指標の狙い	地球温暖化対策機器導入により温室効果ガスの削減を図る。						

令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	生活環境対策事業				コード	03160300-0101	
中事業名	生活環境対策事業				計画区分	―	
担当部等	生活安全部		担当課等	環境課			
総合計画	コード	名称	予算科目		コード	名称	
基本目標	03	暮らしやすいまちを創る		会計	1	一般会計	
基本施策	16	環境負荷の少ない地域社会の形成		款	04	衛生費	
主要施策	03	地域の生活環境の向上		項	01	保健衛生費	
				目	05	環境衛生費	
				大	01	生活環境対策事業	
				中	01	生活環境対策事業	
根拠法令・条例等	空き地の雑草等の除去に関する条例、生活環境の美化を推進する条例、狂犬病予防法 等						
基本計画等							

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	空き地の雑草等の除去、犬のフン害防止、道路上の動物死体処理、犬猫の去勢避妊費用補助、スズメバチの巣及び有害鳥獣の駆除を行い、生活環境の向上、推進に努める。また、狂犬病予防法に基づく狂犬病予防に関する事務を行う。
対象	市民の生活環境
意図（目的）	地域の環境衛生を図ることで、市内の良好な環境を保全する。
手段	空き地の雑草等の除去、犬のフン害防止、道路上の動物死体処理、犬猫の去勢避妊費用補助、スズメバチの巣及び有害鳥獣の駆除、狂犬病予防に関する事務の実施

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			10,815	7,878	10,245	8,357	8,910	6,671	7,864
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	3,559	3,469	3,559	4,426	3,589	4,721	4,442
	一般財源		7,256	4,409	6,686	3,931	5,321	1,950	3,422

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	コロナ禍においても継続的に生活環境の保全を強化していくため、既存の広報・回覧・ＨＰだけでなく、オンラインや動画といった新しい手法を利用して、市民への周知啓発を図っていく。また、地域の問題となっている野良猫対策についても、地域やボランティア団体と協働して地域猫活動に取り組む。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	地域衛生の保全に関する事業及び体制の強化について、さらなる検討をしていく。

令和 3年度に取り組んだこと	雑草等が繁茂している空地所有者への助言・指導・仲介や公共用地の動物死体回収の他、スズメバチ類の巣駆除について公共施設は業者委託、民地は駆除費用の一部を助成、その他有害鳥獣の駆除を行った。また、野犬・野良猫対策として避妊等手術費助成金交付や犬との暮らし方講座、地域猫活動パネル展等を実施。さらにハチの危険性に関する動画を配信した。

成果	多岐にわたる生活環境に関する困りごとを解決するべく、市民から相談及び申請のあった全ての案件に対応し、地域の生活環境が保全された。
課題	生活環境の向上のためには行政による施策だけでなく、市民一人一人が身近なところから取り組むことが大切であるため、市民への啓発・周知をさらに強化していく必要がある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	Ｂ	現状のまま継続	前年度評価結果	Ｂ
評価の理由	生活環境の保全や美化は多種多様な要望・相談・苦情が市民から寄せられるため、継続して取り組み、良好な状態を維持する必要がある。そのためにも必要な体制を整え、情報や知識を蓄積する等、引き続き市内の保全問題に取り組んでいく。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容		改正愛護管理法（事業者マイクロチップ装着義務化等）に伴う狂犬病予防事務を適正に執り行うため、関係機関との調整や情報収集、その他市が関係する業務の把握等、準備をすすめていく。また、継続的に生活環境の保全を強化していくため、引き続きオンラインや動画配信といった新しい手法を利用して、より多くの市民への周知啓発を図っていく。			
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		地域衛生の保全に関する事業及び体制の強化について、さらなる検討をしていく。			

【アウトプット指標】

指標名	空き地の雑草等の除去指導件数					単位	件
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	120.00	142.00	120.00	118.00	130.00	156.00	139.00

【アウトカム指標】

指標名	市内の生活環境の苦情等対応率					単位	%
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
式	保全に関する苦情対応数／保全に関する苦情相談数×100						
指標の狙い	市民が生活を営んでいく中で行政に寄せた要望・相談・苦情に対応することは、市内の生活環境の保全を図ることに繋がっていると考えられるため、対応率100%を目指す。						

令和03年度日進市事務事業評価シート

【アウトプット指標２】

指標名	動物死体処理件数					単位	件
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	10.00	258.00	300.00	272.00	265.00	239.00	256.00

【アウトプット指標３】

指標名	公共施設等のスズメバチ類の巣駆除件数					単位	件
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	10.00	11.00	15.00	19.00	15.00	16.00	15.00

【アウトプット指標４】

指標名	スズメバチ類の巣駆除助成金交付件数					単位	件
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	70.00	81.00	100.00	134.00	108.00	48.00	88.00

【アウトプット指標５】

指標名	有害鳥獣駆除件数					単位	件
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	10.00	0.00	10.00	12.00	6.00	17.00	10.00

【アウトプット指標６】

指標名	犬・猫避妊等手術費助成金及び飼い猫化促進活動助成金交付件数					単位	件
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	530.00	455.00	500.00	528.00	492.00	580.00	521.00

令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	公害対策事業				コード	03160300-0101	
中事業名	公害対策事業				計画区分	―	
担当部等	生活安全部		担当課等	環境課			
総合計画		コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称
	基本目標	03	暮らしやすいまちを創る		会計	1	一般会計
	基本施策	16	環境負荷の少ない地域社会の形成		款	04	衛生費
	主要施策	03	地域の生活環境の向上		項	01	保健衛生費
					目	06	公害対策費
					大	01	公害対策事業
					中	01	公害対策事業
根拠法令・条例等	環境基本法、騒音規制法、振動規制法、県民の生活環境保全条例、市焼却行為規制条例、他						
基本計画等							

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	環境基本法に基づき、届出が必要な作業に伴う苦情から感覚的な苦情に至るまで、市民から寄せられる騒音、振動、悪臭、焼却等苦情全般について適切な指導、助言を行う。
対象	市民の生活環境
意図（目的）	公害から市民の健康を保護するとともに、生活環境の保全を図る。
手段	騒音等公害に対する事業者への指導　等

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			3,006	1,632	2,938	1,561	2,793	1,702	2,949
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		3,006	1,632	2,938	1,561	2,793	1,702	2,949

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	近年、増加傾向にある感覚公害に関する苦情について情報収集するとともに、各種研修を受講して職員個人の知識向上を図るほか、苦情対応実例を研究し、より適正な指導・助言を行うことに努める。また、生活環境に影響を及ぼす恐れのある行為の禁止・自粛について、より積極的な啓発を行い、制度の理解など市民一人一人の意識向上を図ることにより、近隣同士や個人間の苦情を減らしていく。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	市内で発生するあらゆる公害について、情報収集や研修受講を実施していく。特に根拠法令のない苦情へのノウハウを学ぶとともに、より適正な指導・助言方法についても調査研究していく。

令和 3年度に取り組んだこと	河川・ため池等の水質調査及び自動車騒音調査を実施、調査結果をホームページで公開した。また、法の規定に基づく特定施設及び特定建設作業の届出時、適正に受理するとともに、公害の未然防止や指導に努めた。さらに市民から寄せられた苦情相談について個別に対応、現地確認や原因究明に努めるとともに、地域回覧等で啓発・周知を随時行った。

成果	法や条例に基づく苦情件数はその都度、迅速・適正な対応を行うことにより、減少を維持しているが、近年は規定の基準以下である騒音・振動・悪臭等についての感覚公害が増加しており、相談数も増加傾向である。これについては初動を迅速に執り行い、対話を重視することを心がけて実務に当たることにより、解決を図ることができた。
課題	市民の日常生活に関係が深い感覚公害の中でも、根拠法令が存在しない基準以下の苦情案件については規制や指導が困難であるが、苦情者と原因者が歩み寄ることのできる解決方法を提案していく等、改善が図れるよう努めていく必要がある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	法律や県条例に基づく苦情のほか、市焼却の条例に基づく苦情や近隣同士の騒音・振動・悪臭など感覚公害に関する相談について、全て迅速に対応した。今後も人口増加や都市化が続く限り、苦情はゼロになることはないことから、より暮らしやすい環境づくりを目指して、引き続き実務にあたっていく。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容		研修について、近年苦情の増加傾向にある項目を積極的に選択して受講し、職員の知識向上を図るほか、最新の苦情対応実例を研究し、より適正な指導・助言を行うことに努める。また、生活環境に影響を及ぼす恐れのある行為の禁止・自粛について、より積極的な啓発を行い、制度の理解など市民一人一人の意識向上を図ることにより、近隣同士や個人間の苦情を減らしていく。			
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		市民からの苦情相談に関しては、今後も迅速な初動、対話の重視、根拠法令を明確に示すことを等を心がけて、真摯に実務にあたっていく。			

【アウトプット指標】

指標名	法・県条例に基づき指導・助言等の対応を行った件数					単位	件
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	3.00	2.00	2.00	3.00	2.00	4.00	3.00

【アウトカム指標】

指標名	公害防止に関する苦情等対応率					単位	%
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
式	苦情対応数／苦情相談数×100						
指標の狙い	市民が生活を営んでいく中で行政に寄せた要望・相談・苦情に対応することは、公害から市民の健康を保護し、公害防止対策の推進を図ることに繋がっていると考えられるため、対応率100%を目指す。						

令和03年度日進市事務事業評価シート

【アウトプット指標２】

指標名	日進市廃棄物焼却行為の規制に関する条例に基づき、指導・勧告を行った件数				単位	件
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	40.00	20.00	20.00	54.00	37.00	37.00	37.00

【アウトプット指標３】

指標名	その他、騒音・振動・悪臭等の感覚公害に関する相談の対応件数				単位	件
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	38.00	39.00	35.00	50.00	44.00	46.00	45.00

令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	循環型社会推進事業				コード	03160300-0101	
中事業名	循環型社会推進事業				計画区分	―	
担当部等	生活安全部		担当課等	環境課			
総合計画	コード	名称	予算科目		コード	名称	
基本目標	03	暮らしやすいまちを創る	会計		1	一般会計	
基本施策	16	環境負荷の少ない地域社会の形成	款		04	衛生費	
主要施策	03	地域の生活環境の向上	項		02	清掃費	
			目		01	清掃総務費	
			大		01	循環型社会推進事業	
			中		01	循環型社会推進事業	
根拠法令・条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律						
基本計画等	日進市一般廃棄物処理基本計画						

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	ごみゼロ運動の継続や不法投棄未然防止の啓発等により不法投棄をされない環境をつくる。
対象	市内全域
意図（目的）	不法投棄されたごみの処理を行う。また、パトロールをすることにより不法投棄未然防止を図る。
手段	巡回パトロールや不法投棄物の回収、不法投棄防止に関する啓発の実施

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			7,696	6,644	7,656	7,160	7,558	6,609	7,684
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	3,020	2,242	3,039	2,408	3,248	2,313	3,298
	一般財源		4,676	4,402	4,617	4,752	4,310	4,296	4,386

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	パトロールの実施、より効果的な警告看板や貼り紙等の活用、にっしんテレビによる市民への周知等により、不法投棄されにくい環境づくりに取り組む。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	不法投棄されやすい場所への監視用カメラ設置等。

令和 3年度に取り組んだこと	パトロールの実施、警告看板・貼り紙等の活用、にっしんテレビによる市民への周知により、不法投棄されにくい環境づくりに取り組んだ。

成果	パトロールの実施や貼り紙等の活用により、家庭用機器廃棄物の不法投棄数が減少した。
課題	不法投棄件数は減少傾向であるものの、依然として棄てられていることから、今後も啓発やパトロールにより不法投棄されにくい環境づくりに努めていく必要がある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	不法投棄を放置すれば新たな不法投棄を誘発する可能性があるため、警告、早期発見及び回収に努め、不法投棄されない衛生的かつ快適な環境づくりに努めた。人目につきにくい場所は不法投棄されやすいため、今後も警察等関係機関との連携を強化し、引き続き警告及び早期発見に努める。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容	パトロールの実施、より効果的な警告看板、貼り紙、監視カメラの活用等により不法投棄されにくい環境づくりを図る。				
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	不法投棄されやすい場所への監視用カメラ設置等による警告強化				

【アウトプット指標】

指標名	不法投棄された家電４品目の数					単位	台
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	55.00	62.00	47.00	29.00	22.00	12.00	9.00

【アウトカム指標】

指標名	不法投棄された家電４品目のリサイクル料金の対前年度比率					単位	%
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	65.90	58.50	44.30	40.60	30.80	34.30	25.70
式	今年度中に不法投棄された家電４品目のリサイクル料金/前年度中に不法投棄された家電４品目のリサイクル料金×１００						
指標の狙い	不法投棄された家電４品目のリサイクル料金を経年比較し、対前年度比率を減らし最終的には０とすることを目標とする。						

令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	し尿収集・処理事業				コード	03160300-0101	
中事業名	し尿収集・処理事業				計画区分	―	
担当部等	生活安全部		担当課等	環境課			
総合計画	コード	名称	予算科目		コード	名称	
基本目標	03	暮らしやすいまちを創る		会計	1	一般会計	
基本施策	16	環境負荷の少ない地域社会の形成		款	04	衛生費	
主要施策	03	地域の生活環境の向上		項	02	清掃費	
				目	03	し尿処理費	
				大	01	し尿収集・処理事業	
				中	01	し尿収集・処理事業	
根拠法令・条例等	浄化槽法						
基本計画等	日進市一般廃棄物処理基本計画						

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	事業者に委託することで、し尿くみ取り世帯や工事現場などから出るし尿を収集運搬処理する。
対象	市民・事業者
意図（目的）	し尿くみ取り世帯や工事現場などから出るし尿を収集運搬処理する。
手段	し尿くみ取り事業者への委託及び収集運搬処理の実施

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			11,680	10,491	11,464	7,730	11,939	7,673	225,823
財源内訳	特定財源	国庫支出金	911	1,243	911	414	911	276	911
		県支出金	492	298	546	314	546	248	546
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	4,175	5,172	3,631	3,059	3,871	2,983	113,793
	一般財源		6,102	3,778	6,376	3,943	6,611	4,166	110,573

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	し尿汲み取り手数料の口座引き落としを勧めるなど、期日通りの納入をしていただけるよう取り組んでいく。また、し尿処理施設の運転、管理、事務の執行を確実に行う。下水道施設での受け入れが円滑に行われるよう関係機関と調整を行う。さらに合併処理浄化槽の普及と適正管理について、広報や回覧等にて市民に積極的に周知していく。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	下水道施設での受け入れまで日進美化センターの適切な運転や合併処理浄化槽の普及に努める。また、水環境の保全には個人や地域の生活排水対策が必要であることから、実践活動の普及及び定着化に取り組んでいく。

令和 3年度に取り組んだこと	一般家庭から排出されるし尿や浄化槽汚泥について、周辺環境を害することなく収集し適切に処理を行った。また、既存の単独浄化槽世帯またはし尿汲み取り世帯が合併浄化槽へ転換を行う場合に補助金を交付した。

成果	し尿汲み取り世帯の定期収集、工事現場等の仮設トイレの収集の要望に対し、支障無く安定した収集及び処理ができた。浄化槽については、補助金を交付し合併浄化槽への転換を進めることができた。
課題	合併浄化槽へ転換を行う場合の補助金利用件数が少ないことが課題である。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	し尿汲み取り世帯の定期収集、工事現場等の仮設トイレの収集の要望に対し、支障無く安定した収集及び処理ができた。また、市内の単独処理浄化槽の基数も年々減少しており、生活雑排水からの汚濁負荷量の削減ができていることから、今後も継続して取り組んでいく。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容		し尿汲み取り手数料の口座引き落としを勧めるなど、期日通りの納入をしていただけるよう取り組んでいく。合併処理浄化槽の普及と適正管理について、広報や回覧等にて市民に積極的に周知していく。			
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		水環境の保全には個人や地域の生活排水対策が必要であることから、実践活動普及及び定着化に取り組んでいく。			

【アウトプット指標】

指標名	し尿くみ取り世帯数					単位	世帯
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	75.00	74.00	65.00	69.00	61.00	64.00	58.00

【アウトカム指標】

指標名	一世帯あたりのし尿処理コスト					単位	千円
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	155.73	141.77	176.37	112.03	110.00	119.90	117.73
式	し尿収集・処理事業費／し尿くみ取り世帯数						
指標の狙い	し尿くみ取り世帯の一世帯あたりの費用をコスト指標にすることで、事業の効率化を図る。						

令和03年度日進市事務事業評価シート

【アウトプット指標２】

指標名	市内の単独処理浄化槽の基数					単位	基
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	2,950.00	2,946.00	2,900.00	2,943.00	2,900.00	2,933.00	2,900.00

【アウトプット指標３】

指標名	合併処理浄化槽補助金交付件数					単位	件
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	7.00	4.00	7.00	4.00	7.00	3.00	7.00

令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	ごみ・資源収集処理事業				コード	03170100-0101	
中事業名	ごみ・資源収集処理事業				計画区分	―	
担当部等	生活安全部		担当課等	環境課			
総合計画		コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称
	基本目標	03	暮らしやすいまちを創る		会計	1	一般会計
	基本施策	17	ごみの適正処理と再資源化の推進		款	04	衛生費
	主要施策	01	ごみ減量化の推進		項	02	清掃費
					目	02	塵芥処理費
					大	01	ごみ・資源収集処理事業
					中	01	ごみ・資源収集処理事業
根拠法令・条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律						
基本計画等	日進市一般廃棄物処理基本計画						

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	①廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、集積所・資源回収拠点等に出されたごみや資源の収集・処理を行う。②現計画の対象年度は、平成２４年度から平成３８年度までの１５年間で、概ね５年ごとに見直すこととしている。令和３年度に中間見直しを行った。
対象	市民
意図（目的）	①家庭から出されるごみや資源を適正に処理し、資源化やコスト削減を図る。②現計画の対象年度は、平成２４年度から平成３８年度までの１５年間で、概ね５年ごとに見直すこととしている。令和３年度に中間見直しを行った。
手段	①周知・啓発の実施②委託業者により、アンケート調査を実施する。

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			841,904	813,161	886,710	863,658	886,233	869,732	886,664
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	107,927	111,784	110,012	109,456	113,036	121,420	117,363
	一般財源		733,977	701,377	776,698	754,202	773,197	748,312	769,301

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	正しく分別することで資源化が促進されるため、今後も市民への丁寧な説明に努め、資源化への理解を促す。また、一般廃棄物処理基本計画の見直しを行い、新たな数値目標や施策について設定する。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	資源化促進のため、紙類のリサイクル等、新たな品目についても検討する。

令和 3年度に取り組んだこと	ごみ分別方法の周知のため、家庭ごみ&資源の出し方ガイドブックの内容を見直した。また、電話や窓口での問い合わせに対しても丁寧な説明に努め、その浸透を図った。

成果	組成調査を実施した結果、燃えるごみの中に混入しているリサイクル可能な紙類の割合が減少した。
課題	燃えるごみの内訳では、紙等のリサイクル可能なものが含まれているため、リサイクルに繋げていくことが必要。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	資源回収量は微減となっているものの、リサイクル率は県内でも上位を保っており、現在の取組みが市民のリサイクルへの高い関心へと繋がっていると考えられるため。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容		正しく分別することで資源化が促進されるため、今後も市民への丁寧な説明に努め、資源化への理解を促す。また、紙類のリサイクル等、新たな品目についても検討する。			
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		紙類のリサイクル等、新たな品目についても検討する。			

【アウトプット指標】

指標名	資源ごみ回収量（エコドーム分除く）					単位	t
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	5,400.00	5,137.00	5,400.00	4,771.00	5,400.00	4,616.00	5,400.00

【アウトカム指標】

指標名	１人あたりのごみ・資源処理費用					単位	千円
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	1.81	8.87	8.77	9.33	9.22	9.35	9.24
式	総事業費／人口						
指標の狙い	資源やごみの収集・処理の費用を下げることが、効率的な資源ごみの処理に繋がる。						

令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	中央環境センター管理運営事業				コード	03170200-0201	
中事業名	中央環境センター管理運営事業				計画区分	―	
担当部等	生活安全部		担当課等	環境課			
総合計画		コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称
	基本目標	03	暮らしやすいまちを創る		会計	1	一般会計
	基本施策	17	ごみの適正処理と再資源化の推進		款	04	衛生費
	主要施策	02	ごみの再資源化の推進		項	02	清掃費
					目	01	清掃総務費
					大	02	中央環境センター管理運営事業
					中	01	中央環境センター管理運営事業
根拠法令・条例等	日進市廃棄物の処理及び清掃に関する条例						
基本計画等	日進市一般廃棄物処理基本計画						

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	エコドームで資源となるごみの回収を行い、市民のごみ処理費用の負担軽減を図るとともに、ごみの減量化及び資源化について、市民に普及・啓発を行う。
対象	市民
意図（目的）	家庭から出るごみを資源化及び減量することで、処理費用削減を図る。
手段	広報やホームページ等による周知、イベント時の啓発の実施

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			23,597	22,751	23,242	21,822	22,335	21,798	22,404
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	131	0	0	0	0	0
	一般財源		23,597	22,620	23,242	21,822	22,335	21,798	22,404

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	施設の暑さ対策として、ミストシャワーやスポットクーラーの設置等を行う。また渋滞対策として、混雑時の市役所駐車場への案内の周知や、滞在時間の短縮となるよう施設内のレイアウトや動線、案内表示等の改善を図る。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	資源の分別やエコドームでの資源の取り扱いについて周知を行う。

令和 3年度に取り組んだこと	資源の分別やエコドームでの資源の取扱いについて周知を行い、リサイクル率の向上を図った。回収した資源について、可能なものは事業者に売却しリサイクルに繋げた。各課等が実施するESD関連の事業や市民団体の活動の場所として積極的に活用した。

成果	エコドームの資源回収量は前年度に比べ減少しているものの、日頃からエコドームを利用する市民が多くいることから、リサイクルの拠点として大きな役割を果たしている。
課題	施設の老朽化や前面道路の渋滞等が課題となっている。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	エコドームでの資源回収量は前年度に比べ減少しているものの、日頃からエコドームを利用する市民が多くいることから、リサイクルの拠点として大きな役割を果たしていると言えるため。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容		資源の分別やエコドームでの資源の取扱いについて周知を行い、リサイクル率の向上を図る。			
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		資源の分別やエコドームでの資源の取扱いについて周知を行う。			

【アウトプット指標】

指標名	エコドーム資源ごみ回収量					単位	t
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	1,774.00	1,626.00	1,874.00	1,460.00	1,683.00	1,404.00	1,618.00

【アウトカム指標】

指標名	１世帯あたりの処理費用					単位	千円
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	0.59	0.61	0.60	0.57	0.56	0.56	0.55
式	総事業費/世帯数						
指標の狙い	エコドームでの資源の回収は、ごみの減量及びリサイクル推進の上で大切であるが、施設の運営や維持管理に費用がかかる。エコドームへの資源の持ち寄りは世帯単位で行われているため、１世帯あたりの処理費用を下げることが効率的な事業の運営に繋がると考えられる。						